

特定非営利活動法人 フェアトレード学生ネットワーク関東 設立趣旨書

この法人は、「フェアトレード」を推進し、一般市民に向けて普及することを理念として掲げています。

フェアトレードとは、弱い立場にある生産者や労働者に対し、より良い貿易条件を提供し、公正な取引を進めるものです。生産者の権利を守り、消費国と生産国間の持続可能な発展に貢献し、それらの間にある格差を是正する手法として、世界的に注目されています。

その背景には、現在のグローバルな貿易のあり方が、経済的にも社会的にも弱い立場の開発途上国の人々にとって、時に「アンフェア」であることが挙げられます。アンフェアな貿易は貧困を拡大させ、児童労働、環境の汚染、生物多様性の破壊などの問題を生み出し、依然としてその問題はあり続けています。

フェアトレードは、消費国が生産国から搾取するような従来までの貿易のあり方ではなく、持続的かつ双方向的な貿易を通じて、より生産者が自立できるよう促す点において、従来までの貿易と根本的に異なります。その意味において、私たちはフェアトレードがアンフェアな貿易のあり方を是正する一助となることを確信しています。

我が国でも、消費という日常的行動の中で社会貢献ができるひとつの方法として、フェアトレードは徐々に認知され始めています。フェアトレードは利益や収入といった経済的なリターンだけでなく、地域活性化や雇用創出、自立支援などの社会的なリターン、つまり社会貢献を同時に追求することができます。販売者と消費者の利益だけでなく、生産者の自立や、商品の生産・販売において、地域社会や環境にも寄与しているのです。

フェアトレード学生ネットワーク関東は、関東圏にあるフェアトレードを推進する 38 団体（2014 年）のネットワークを構築し、その連携の橋渡しをする役割を担ってきました。国内でのフェアトレードの普及活動を行い、その活動は 11 年目を迎えます。一方で、現在までの活動は、学生の内輪での関係性の構築に終始していました。運動体としてフェアトレードを捉えるならば、フェアトレードが広く一般消費者に支持されて初めて成り立つことは明白です。

ここに他のどの法人でもなく、特定非営利活動法人が最も適していると考えた理由があります。活動が 11 年を迎える今、内向きな運動に留まっていた活動を、一般消費者に働きかけていき、よりフェアトレードを普及啓発していくために、特定非営利活動法人化を決意しました。

活動の軸を普及啓発、教育、ネットワーキングの 3 つに定め、それらの事業を持続的に継続するべく、ここに特定非営利活動法人 フェアトレード学生ネットワーク関東を設立します。

2014 年 12 月 14 日

法人の名称 特定非営利活動法人 フェアトレード学生ネットワーク関東

設立代表者 内山 大志